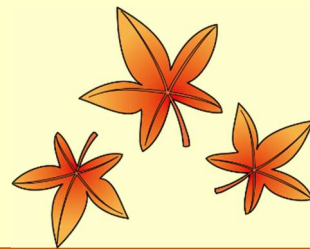


【今号の内容】

- ・腰椎椎間板ヘルニア新治療のお知らせ
- ・職場紹介
- ・コロナワクチン予防接種のお知らせ



腰椎椎間板ヘルニアの新治療

腰椎椎間板ヘルニアに対する"切らない"第3の治療法導入について（椎間板酵素注入法）

鎌倉病院は、2022年10月1日付けで、日本脊椎脊髄病学会 椎間板酵素注入治療法実施可能施設の認定を受けました。整形外科の三松興道医師（日本脊椎脊髄病学会指導医）が診療を担当します。

これまでヘルニアの治療方法は以下の2つでした。

- ① 保存療法：内服、神経ブロック注射など
- ② 手術治療：手術でヘルニアを摘出する。

この2つに加え、今回新しい治療法が認定されました。

整形外科
三松興道医師

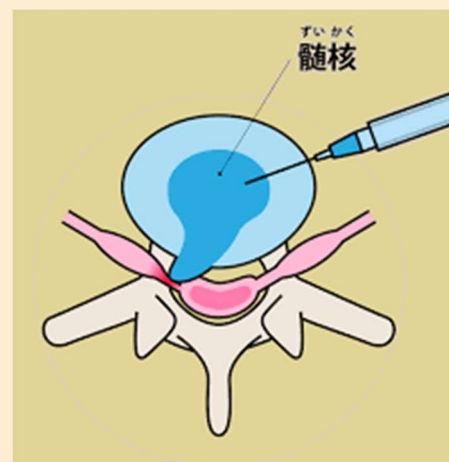


③ ついかんばんこうそちゅうにゅうほう 椎間板酵素注入法

椎間板ヘルニアによる神経圧迫軽減を目的とした第3の方法です。ヘルニコア（コントリアーゼという酵素）を椎間板内に直接注射し、ヘルニアが分解・縮小されることで、痛みの軽減効果が期待されます。

2泊3日入院での治療となります。

三松医師の外来診療でご相談ください（火・木・土）。



鎌倉病院 職場紹介

手術室より

当院は関節疾患、脊椎脊髄疾患を中心に、整形外科全般の様々な疾患障害に対し手術を行なっています。当院手術室看護師は6名、山下公園スパインクリニックより3名の看護師と協力し合い手術を受ける患者様に安楽と安心が提供できるよう努力しています。手術は患者様にとって未知であり、漠然とした不安があります。私たち手術室看護師は術前訪問を行ない、患者様の抱える不安を理解し良好な信頼関係の構築に繋げています。



外来看護部より

当院では骨粗鬆症、関節痛・腰痛、骨折、捻挫など、整形外科全般の保存的加療および手術的加療を行っております。また内科では生活習慣病をはじめ、内科疾患全般の早期発見、早期治療を目指しております。整形外科手術は他院より紹介の方も多く、訪れた患者様が安心して、そして安全に手術をうけられるよう援助いたします。

2階病棟看護部より

2階病棟は整形外科の手術や内科疾患を中心とした急性期の入院病棟です。主に膝や肩の人工関節、脊椎、各骨折の手術前後の患者様が多く入院しています。建物は古いですが、「この看護師さんはとても優しく親切だ」と言ってくれる皆様の言葉に励まされています。手術後のリハビリが進み、動けるようになり、病状が日々回復していく姿をお見かけすることが私たち看護師の喜びです。



コロナワクチン予防接種のお知らせ

当院受付にて、コロナワクチン予防接種を受け付けています。

実施日：金曜日・土曜日 14時～ ※要予約

詳しくはホームページをご覧ください。

インフルエンザ予防接種も受付中です。

※ご希望の方は受付までお申し出ください。

鎌倉病院受付：0467-22-5500

